

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	徳島県	事業実施主体	徳島県、美馬市	地域再生計画名	豊かな緑と藍色のまほろば美馬市再生計画
計画期間	平成28年度～令和2年度	評価責任者	建設部長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値			事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価
	指標1	指標2	基準年度	H26	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数	達成数				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	市産木材年間搬出量の増加	17,000㎡	H26	21,000㎡	H30	18,670㎡	27,000㎡	R2	23,732㎡	×	3	1	令和2年度実績は23,732㎡で最終目標を達成できていないが、平成28年度実績は30,486㎡、令和元年度実績は27,647㎡で、計画期間内で最終目標値を上回る年があったことから、搬出量増加のための林道等の整備が進んだと考える。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により入り込み客数が激減したため、事後評価が困難であるが、令和元年度までは増加傾向にあったため、点在する観光スポットへのアクセス改善に一定の効果があったと考える。 木屋平地区で1拠点、美馬町地区で4拠点、脇町地区の1拠点で、廃校施設を拠点としたまちづくり協議会が立ち上がり、合計6拠点となった。
	指標2	市内観光地点観光入り込み客数の増加	70万人	H26	78万人	H30	75万人	80万人	R2	54万人	×			
	指標3	「小さな拠点」の形成	0拠点	H26	1拠点	H30	5拠点	4拠点	R2	6拠点	○			
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1													
	指標2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
特別措置を適用して行う事業	市道整備	17.81km	6.43km	11.16km	当該計画の計画量に対する交付金の交付率が低くなっており、目標値には届かなかった。									
	林道整備	7.85km	5.59km	9.49km	整備量の目標値を達成した。									
その他の事業														
計画外で独自に実施した事業	森林整備地域活動支援交付金事業	森林施業の集約化に必要な森林情報の収集、境界確認等の諸活動に対する支援			市内の2つの事業体を通じて事業を実施し、木材年間搬出量の増加に貢献できた。									
	社会資本整備総合交付金事業（都市再生整備計画事業）	観光交流センター、地域交流センター、道の駅の整備や、既存施設との連携による周遊型観光の推進に取り組む			観光施設の整備により観光入込客数の増加に貢献した。									
	社会資本整備総合交付金事業（道路事業）	市内の集落と主要幹線道路へのアクセス道路となる市道の整備を行い、生活環境の改善をはかる			主要幹線道路へのアクセス向上により、生活環境の改善につながった。今後も積極的に事業を進めていく。									
	「集落ネットワーク圏」による「小さな拠点」形成事業	地域まちづくり協議会の組織化支援や、廃校校舎等の活用による「小さな拠点」の形成を図る			平成29年度木屋平地区で1拠点、平成30年度美馬町地区で4拠点で、学区単位でまちづくり協議会が立ち上がり、廃校校舎の利活用を図りながら地域活性化に取り組んでいる。令和2年度から脇町の清水地区で新たに1拠点が形成され、令和2年度末の市内の「小さな拠点」の形成数は6拠点となった。									
	農産物等集出荷・買い物支援事業	農産物集出荷拠点での販売支援による所得増加と、買い物支援を行う事により暮らしの安心を支える			農産物等集出荷は補助を受けていた団体が法人化し、市の支援から離れ、事業として独立を果たした。買い物支援は民間の事業者の参入により買い物支援を行う体制が確立したため平成29年度で事業を終了した。									
デマンドバス事業	事前の予約による乗り合い形式で自宅から目的地まで移動する「美馬ふれあいバス」を運行する			【年間利用者数】平成23年度事業開始：3,383人、平成28年度：16,085人、平成29年度：16,695人、平成30年度17,760人、令和元年度17,940人、令和2年度16,280人（令和2年度の利用者は新型コロナウイルス感染症の影響で減少したが、令和元年度までは毎年度増加していた。）										
④評価方法	令和3年7月に美馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。													
⑤事後評価の公表方法	市のホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	数値目標を達成した項目があることから、木材搬出量の増加や集落ネットワークの確保に一定の効果があったと考える。地方創生道整備交付金を活用し、市道と林道を一体的に整備したことにより、「豊かな緑」を活かした「藍色のまほろば美馬市」のまちづくりに貢献したと考える。													
⑦今後の方針等	今後も市民生活における利便性のさらなる向上を目指した道路整備を進めながら、市内観光地間のネットワーク強化に取り組み、入込客数の増加だけでなく「滞在型観光」を促進する。また、林道と関連する市道を一体的に整備し、山中の施業箇所や木材集積地へのアクセスを改善し、林業の活性化を目指す。													